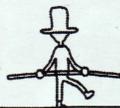


# 行ってみよう！ 防災訓練

地域の防災訓練をのぞいてみました。

生駒市役所 危機管理課 平成 26 年 1 月 15 日発行



## 土砂災害を想定しての訓練

《11 月 23 日 北新町地域》

北新町自治会と桜台自治会は、生駒市と奈良県との共催で、大雨による土砂災害を想定した避難訓練を行い、約 80 人が参加しました。

訓練内容は、避難に必要な情報の伝達、被害状況の収集、「一時避難場所」での住民の安否確認、「避難所：たけまるホール」まで実際に歩いての避難経路の安全確認です。

### ■ 災害発生の際は市から自治会へ

大雨により崖崩れなどの危険性が高まると、気象庁は都道府県と共同で市町村に「土砂災害警戒情報」を發表します。

訓練では、発表を受けた市が北新町・桜台の両自治会長に「避難準備情報」「避難勧告」を連絡。自治会長は各班長に連絡し、班長は住民をあらかじめ決めておいた広場・公園・駐車場などの「一時避難場所」に集めて安否確認を行いました。

実際の災害時にはこの情報伝達方法のほかに、消防車両でのスピーカー放送による直接の呼びかけも行われます。



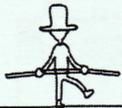
### ■ 避難所まで 時には遠回りも

一時避難場所から避難所までは、「土砂災害警戒区域」を避け、安全な道を選んで避難します。時には遠回りになることも。

また、避難に手助けが必要な「災害時要援護者」のことを考え、車椅子を使っての避難も行いましたが、北新町は急な下り坂が多く、車椅子での前向きの進行は危険なため、後ろ向きで避難する場面（左の写真）もありました。

### ■ 避難することが危険なときは

大雨のときは水路などの水かさが増し、遠くの避難所へ避難することが危険な場合もあります。車椅子を使っての避難はなおさら困難です。こんなときは、崖などから遠い位置にある部屋へ移ったり、近所の安全な家や集会所などに避難したりするなど、状況に応じて的確に判断することが大切です。



## 北地区自治連合会 防災訓練

《11月24日 鹿ノ台小学校 ほか》

### ■ 防災用無線機での情報伝達訓練

《北地区自治連合会》

北地区自治連合会は生駒市と共催で防災用無線機を使った情報伝達訓練を行いました。

避難所と災害対策本部の間の無線連絡は、原則として市職員が行いますが、市職員がいない場合は避難所にいる自治会長や自主防災会長といった代表者が行ってもらう必要があります。

訓練では、避難所と地区連絡所、地区連絡所と災害対策本部の情報伝達を防災用無線機で行いました。地区連絡所とは中学校のことで、迅速な情報収集と伝達を行うために、生駒市では各避難所の情報は地域の中学校で集約することになっています。今回は、各避難所と地区連絡所には北地区自治会・自主防災会の役員が、災害対策本部を想定した鹿ノ台小学校運動場には市職員が配置し、情報の伝達を訓練しま



鹿ノ台自主防災会消火班全員が繋がってのバケツリレー

した。いかに正確に情報を伝えるか、参加者の中には初めて無線機を使用する人もいて緊張感が漂い、真剣そのものでした。



地区連絡所からの情報を無線機で聴き取る市職員



「AED」自動体外式除細動器とは・・・

心臓がけいれんし、ポンプ機能を失った状態（心室細動）になったとき、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。音声によるガイドがあり、初めての方でも使えるようになっています。病院、スポーツ施設、学校など人が集まるところに設置されています。

生駒市総合防災マップに、「AED」設置場所が載ってるよ。



■ 初期消火と救護訓練 <<鹿ノ台自主防災会>>

鹿ノ台自主防災会では、毎年、担当班別の訓練が行われています。今回は、消火班と救護班が訓練を実施しました。

消火班は水消火器とバケツリレーの訓練を、救護班はAEDの使用方法を学ぶ訓練を行い、参加者全員が体験しました。

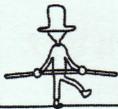
■ 可搬式ポンプを使った消火訓練

<<ひかりが丘自主防災会>>

ひかりが丘自主防災会では、防火水槽から可搬式ポンプで水を吸い上げて行う消火訓練を行いました。また、水消火器を使っての初期消火訓練や、防災倉庫にある資機材の取扱い説明も行いました。



女性消防団員の指導によるAEDの使い方訓練



中地区自治連合会 防災訓練

<<12月1日 桜ヶ丘小学校、12月8日 生駒小学校>>

中地区自治連合会では、市内で震度5弱以上の地震が発生した場合、また地震による断水、停電、通信不能が発生している場合、各自治会・自主防災会に対応に当たるとともに、近隣自治会が連携して災害対応を行うとしています。そして、その連携の中心となる「地域防災センター」のひとつである桜ヶ丘小学校と生駒小学校で防災訓練が行われました。

訓練は、各小学校区までの避難経路の確認、アルファ化米と豚汁の炊出し訓練、消防車の見学など。各小学校それぞれ約170人が参加しました。また、参加者に炊出しの準備からの協力を求めるなど、特に「自助」「共助」を強調した訓練が行われました。



乾燥したお米をお湯で戻す「アルファ化米」。自主防災会の訓練で使うときは市から提供いたします。

安否確認等状況報告(情報は下記連絡先またはお近くの避難場所まで)

情報発信元	報告者	報告地域
自治会/自主防災会/民生児童委員/青友会・PTA/老人会/		自治会 班

以下の安否確認をお願いします

班内(ご近所・身の周り・お友達)の状況						
ライフラインは通じますか?	電気	水道	ガス	電話	テレビ	ラジオ
班内の火災・水害・崩壊等の災害状況	火災 家屋の倒壊 家屋の崩壊等の危険 家具の倒壊					
安否の確認・被害内容	犯罪件数	被害件数	被害内容			
怪我はありませんでしたか?	世帯					
家具などの倒壊はありませんか?	出先の家族との連絡は取れましたか 避難しなければなりませんか?					
困っていることはありますか?						
以下の周知をお願いします						
電気・ガスの安全確認をお願いします。						
余震が当分続きます。身の周りの安全確保をお願いします。						
大規模地震では同規模の余震が発生します。2次災害に気をつけてください						

情報連絡先 ① ②  
③ ④

中地区自治連合会では「安否確認状況報告書」を使って地域防災センターで情報を収集します

## 特別警報って今までの気象警報とどう違うの？

今年8月30日から運用が開始された「特別警報」。

ニュースや天気予報などで時々耳にしますが、具体的にはどのようなものなのでしょう。

### ■ どんなときに発表されるの？

気象庁は、現在の警報の基準をはるかに超え、重大な災害が起こる可能性が高まったとき、より強く警戒を呼びかけるため「特別警報」を発表します。

重大な災害が発生しそうなときに出るんだって

### ■ 特別警報にはどんな種類があるの？

- ① 大雨
- ② 暴風
- ③ 高潮
- ④ 波浪
- ⑤ 暴風雪
- ⑥ 大雪
- ⑦ 津波（高さ3m超）
- ⑧ 火山噴火（噴火警報：レベル4以上）
- ⑨ 地震（緊急地震速報で震度6以上）

生駒市では①大雨②暴風⑨地震の特別警報に特に気をつけて

の9種類について発表されます。

### ■ 特別警報が発表されたら何をすればいいの？

直ちに「命を守る行動」をとってください。

危険だと感じたら、少しでも安全な場所に避難しましょう。

### ■ 特別警報が発表されたときはどのように伝えられるの？

- ① テレビやラジオ
- ② 携帯電話の緊急速報メール
- ③ 生駒市の登録制メール「緊急・災害情報メール」
- ④ 市役所や消防本部の広報車
- ⑤ 自治会からの電話連絡などで伝えられます。

避難指示なども特に危険な箇所にお住まいの方には、生駒市から「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」を出します。

#### とどまる避難

「とにかく避難所に行くこと」だけが避難ではありません！まわりの状況をよく見て、外へ出るより今いる場所の方が安全なら、「とどまること」も大切です。

★特別警報は、府県程度以上にわたる広い範囲で大きな災害が起こりそうなときに 府県単位で発表されます。

つまり、ゲリラ豪雨のような局地的な大雨の場合は、特別警報の対象外となります。

特別警報が発表されていないからといって 災害が起こらないとは限りません。

また、奈良県で考えると、県南部の紀伊山地で大雨が降り特別警報が発表されても、生駒市は小雨だった・・・ということも考えられます。

家のまわり、通勤・通学先など自分がいる場所の情報を正しく知りましょう！

- 日頃から浸水しやすい場所やがけ崩れを起こしそうな場所等、危険箇所を把握しておきましょう。
- 一時避難場所や避難所、避難ルートをあらかじめ確かめておきましょう。
- 早め早めの行動で被害を最小限にできます。
- 自分自身の安全が確保できたら、近所の方に声をかけるなどお互いに助け合いましょう。